

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## ソニー銀行株式会社（証券コード：-）

### 【変更】

長期発行体格付  
格付の見通し

AA- → AA  
安定的

### ■格付事由

- (1) 当行は、ソニー生命保険、ソニー損害保険などとソニーフィナンシャルグループ（SFG）を形成するインターネット専業銀行。SFGの持株会社（SFGI）が議決権の100%を有する。長期にわたる業容の拡大などを背景にグループへの利益貢献度が高まっており、SFGによる資本・財務支援も持続的に行われている。SFGにおける戦略的な位置づけなどを踏まえ、長期発行体格付を1ノッチ引き上げた。当行の取締役の過半がSFGIの役員を兼務するなど経営の一体性は強い。また、SFGはグループ内での相互送客・クロスセルなどにより傘下子会社間のシナジーを拡大する戦略を掲げており、幅広い顧客層との接点を有する当行の機能的な重要度は高い。なお、SFGはソニーグループの傘下にあるが、SFGの手掛ける金融事業は健全性規制の対象であること、金融事業の円滑な運営には高い信用力の維持が非常に重要であることなどを勘案すると、SFGはソニーグループの非金融部門から一定の独立性を確保し続けるとJCRはみている。
- (2) 当行はグループの優れたブランドイメージのもと、ユニークな商品・サービスを提供することで業容を拡大しており、業績は好調を維持している。大手不動産業者やソニー生命のライフプランナーなどとの提携により、住宅ローン需要を着実に取り込んでおり、関連する貸出金利息収入や手数料収入が堅調に推移している。23/3期上半期は住宅ローンの新規実行が減少した。一方で、外貨関連収益が伸びているほか、海外市場金利の上昇に伴う有価証券利息配当金の増加などから、コア業務純益は前年同期比約2割の増益となった。
- (3) 貸出資産の質は良好である。貸出の大宗を占める住宅ローンのデフォルト率は極めて低く、かつ担保などで保全されており、当面与信費用は低位で推移するとみている。有価証券運用については、外貨預金で調達した資金を主な原資とし、変動金利化された高格付債を中心に投資している。近年は利回り確保のため投資対象の多様化を進めているため、JCRは投資内容やポートフォリオの分散状況などのリスク管理態勢を見守る。
- (4) 連結コア資本比率は22年12月末で8.78%。21/3期から22/3期にかけ合計150億円の増資をSFGIが引き受けたことが連結コア資本比率の下支えに寄与した。今後も住宅ローン残高の増加を主因にリスクアセットが拡大していくと想定されるものの、規律ある財務運営方針のもと、一定程度の資本水準を維持できるとJCRはみている。

（担当）大石 剛・清水 達也

### ■格付対象

発行体：ソニー銀行株式会社

### 【変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA	安定的

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2023年3月15日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：宮尾 知浩  
主任格付アナリスト：大石 剛
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「銀行等」(2021年10月1日)、「金融グループの持株会社および傘下会社の格付方法」(2022年9月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) ソニー銀行株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
  - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
  - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

## ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

## ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

## ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル